

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和1年6月20日(2019.6.20)

【公開番号】特開2019-13251(P2019-13251A)

【公開日】平成31年1月31日(2019.1.31)

【年通号数】公開・登録公報2019-004

【出願番号】特願2018-204089(P2018-204089)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/12	(2006.01)
C 0 7 K	14/755	(2006.01)
C 0 7 K	19/00	(2006.01)
C 1 2 N	15/63	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 P	21/02	(2006.01)
A 6 1 K	38/37	(2006.01)
A 6 1 P	7/04	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/12	
C 0 7 K	14/755	Z N A
C 0 7 K	19/00	
C 1 2 N	15/63	Z
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/10	
C 1 2 P	21/02	C
A 6 1 K	38/37	
A 6 1 P	7/04	

【手続補正書】

【提出日】令和1年5月16日(2019.5.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

伸長組換えポリペプチド(XTEN)に融合された第VIII因子ポリペプチドを含有する組換え第VIII因子融合タンパク質であって、

前記第VIII因子ポリペプチド中の成熟型天然ヒト第VIII因子(配列番号2)に相当するアミノ酸残基R1648が欠失され、

前記XTENが、配列番号23、24、25、26、50、52、67または78で示されるアミノ酸配列を含み、

前記XTENは、成熟型天然ヒト第VIII因子(配列番号2)のアミノ酸745に相当するアミノ酸のすぐ下流で前記第VIII因子ポリペプチドに挿入されている、組換え

第VIII因子融合タンパク質。【請求項2】

前記第VIII因子ポリペプチドが、成熟天然ヒト第VIII因子（配列番号2）のアミノ酸1～745を含む、請求項1に記載の組換え第VIII因子融合タンパク質。

【請求項3】

前記第VIII因子ポリペプチドが、成熟天然ヒト第VIII因子（配列番号2）のアミノ酸1649～2332を含む、請求項2に記載の組換え第VIII因子融合タンパク質。

【請求項4】

伸長組換えポリペプチド（XTEN）に融合された第VIII因子ポリペプチドを含有する組換え第VIII因子融合タンパク質であって、

前記第VIII因子ポリペプチドが、成熟天然ヒト第VIII因子（配列番号2）のアミノ酸1～745および1649～2332を含み、

前記XTENは、成熟型天然ヒト第VIII因子（配列番号2）のアミノ酸745に相当するアミノ酸のすぐ下流で前記第VIII因子ポリペプチドに挿入されており、

前記XTENが配列番号78で示されるアミノ酸配列を含み、

前記第VIII因子ポリペプチド中の成熟型天然ヒト第VIII因子（配列番号2）に相当するアミノ酸残基R1648が欠失されている、組換え第VIII因子融合タンパク質。